様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 9 日

松山市長
野 志 克 仁 殿

提出者
住所 愛媛県松山市松末一丁目1番5号
氏名 協和道路株式会社
代表取締役 東 誠
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号 089-975-7200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

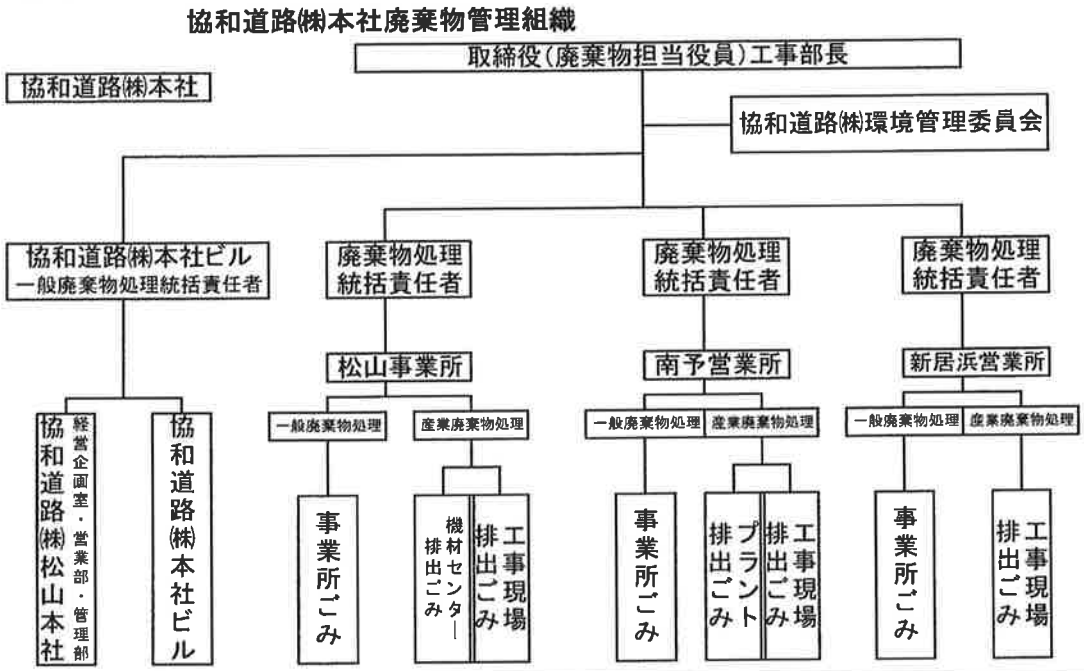
事業場の名称	協和道路株式会社
事業場の所在地	愛媛県松山市松末一丁目1番5号
計画期間	令和 5年 4月 1日 ～ 令和 6年 3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	特定建設業
②事業の規模	19億円
③従業員数	220名
④産業廃棄物の一連の処理工程	事業場において生ずる産業廃棄物は、 収集運搬、処分業者（中間処理業者）に委託する。

産業廃棄物の処理に関する管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

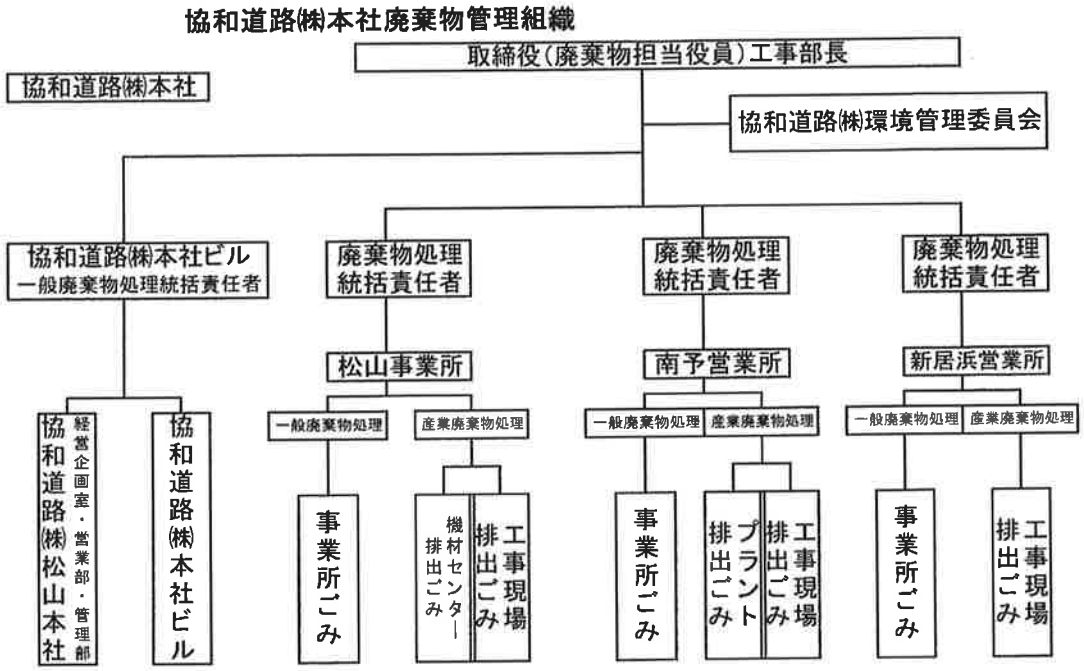
①現状	【前年度（ 令和 4 年度）実績】 産業廃棄物の種類：がれき類／汚泥／廃プラスチック類／木くず 排出量：9,668.130t／33.438t／33.507t／16.430t （これまでに実施した取組） 産業廃棄物は、再利用する業者へ委託する。
②計画	【目標】 産業廃棄物の種類：がれき類／汚泥／廃プラスチック類／木くず 排出量：10,000.0t／15.0t／2.0t／5.0t （今後実施する予定の取組） 産業廃棄物は、再利用する業者へ委託する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

産業廃棄物の処理に関する管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 令和 4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃電気機械器具	廃電池類	ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず
排　出　量	24.160t	0.119t	0.096t	0.780t

（これまでに実施した取組）

産業廃棄物は、再利用する業者へ委託する。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃電気機械器具	廃電池類	ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず
排　出　量	10.0t	0.10t	0.10t	0.10t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物は、再利用する業者へ委託する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）

（第3面）

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	――――	――――
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	――――	――――
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	――――	――――
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	――――	――――
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	（今後実施する予定の取組）		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	――――	――――
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	――――	――――
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 令和 4 年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック類	木くず
	全処理委託量	9,668.130t	33.438t	33.507t	16.430t
	優良認定処理業者への処理委託量				
	再生利用業者への処理委託量	9,668.130t	33.438t	33.507t	16.430t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
	（これまでに実施した取組） 産業廃棄物は再利用する業者へ委託する。				

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（　　年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	――――	――――
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	――――	――――
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.0t	0.0t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和 4 年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	廃電気機械器具	廃電池類	ｶﾞﾗｽくず･ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず
全処理委託量	24.160t	0.119t	0.096t	0.780t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	24.160t	0.119t	0.096t	0.780t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥	廃プラスチック類	木くず	建設混合廃棄物	廃電気機械器具	廃電池類	ガラスくずコンクリートくず及び陶磁器くず
全処理委託量	10,000.00t	15.00t	2.00t	5.00t	10.00t	0.10t	0.10t	0.10t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	10,000.00t	15.00t	2.00t	5.00t	10.00t	0.10t	0.10t	0.10t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物は再利用する業者へ委託する。

※事務処理欄

多量排出事業者の産業廃棄物処理の計画

産業廃棄物処理計画

令和　6年　4月

協和道路株式会社

1. 会社の概要

（1） 会社名

協和道路株式会社

（2） 資本金

5，000万円

（3） 従業員数

220人

2. 当協和道路株式会社（南予営業所宇和プラント）において
現に行っている事業の概要

（1） 従業員数

16人

（2） 製造品出荷額等

（2） 製造品出荷額等

平均1億3千万円/年

（3） 製造概要

当協和道路株式会社（南予営業所）は、アスファルト混合物を製造する。

令和4年度 生産量

新規アスファルト混合物	約	318.8	t
再生アスファルト混合物	約	10,351.0	t

別途プラントマニュアル参照

（5） 工場配置図

別途プラントマニュアル参照

（6） 事業展望

公共工事量の減少によりアスファルト混合物の出荷量が伸び悩んでいる為、
今後の展望を見据え販売に力を入れる。

（7） 廃棄物処理フロー図

図－1、 図－2 参照

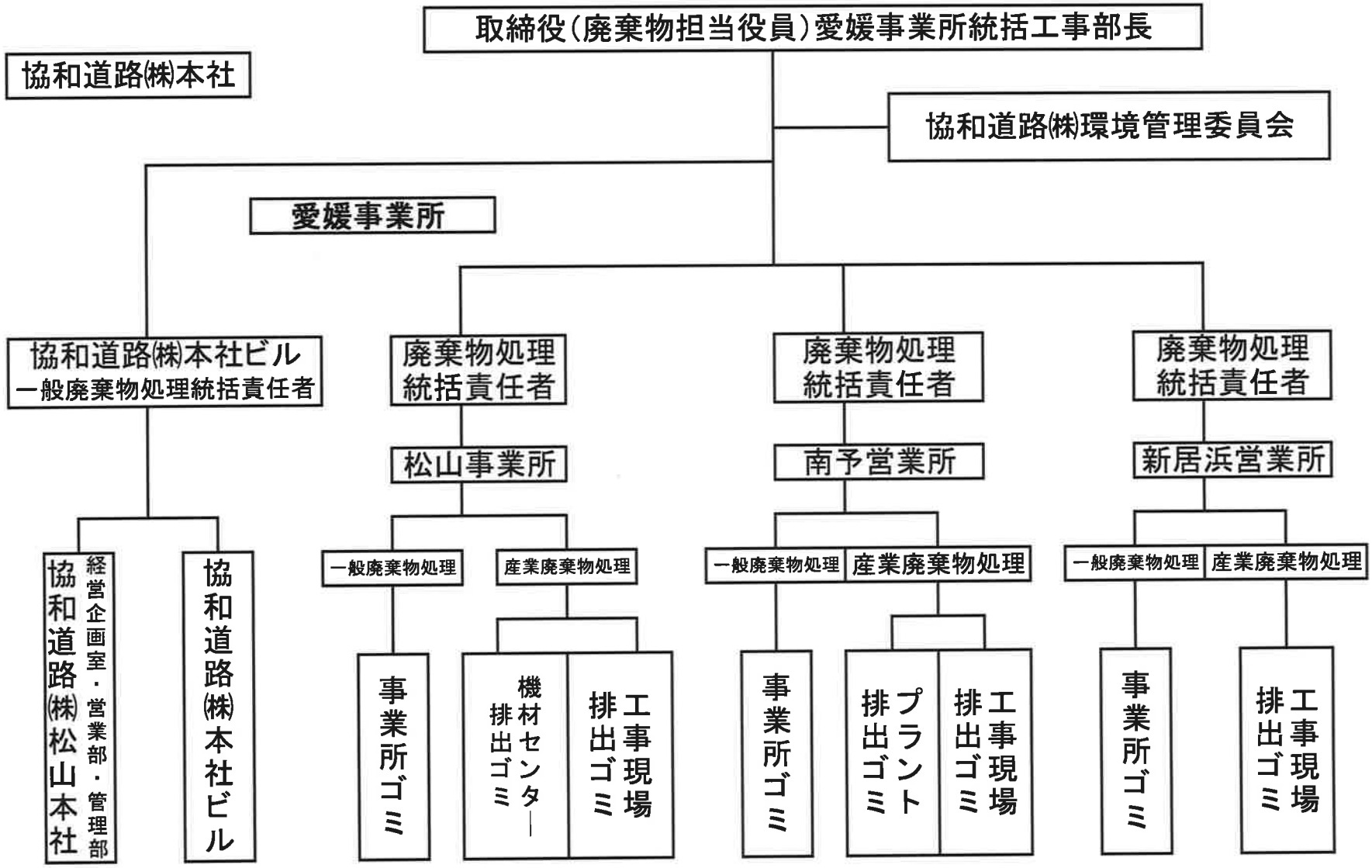
（8） 連絡先

担当者：協和道路株式会社（南予営業所）
所長 池川 弘司
電話番号：0894－62－0387

3. 計画期間

令和 5年 4月 1日 から 令和 6年 3月 31日

協和道路㈱本社・愛媛事業所廃棄物管理組織



5. 廃棄物処理に関する事項

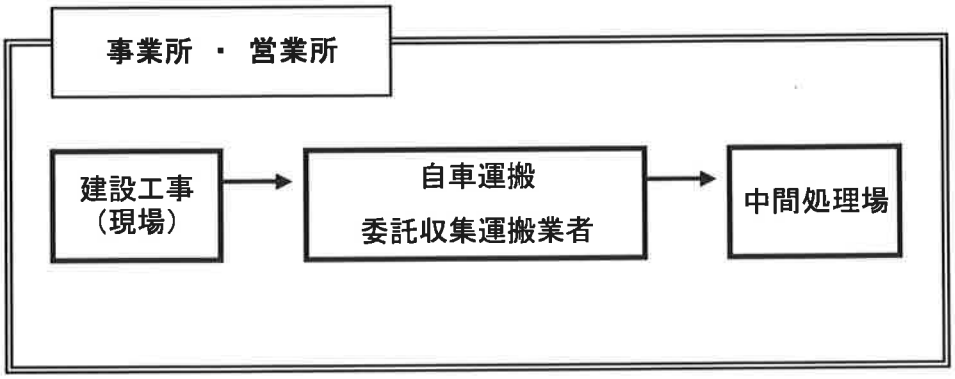
（1） 発生する廃棄物の種類、発生状況、処理方法に関する留意事項を整理して、従業員に教育、訓練を行う。

（2） 廃棄物の適正な処理を確保する為に、関連する法令、その他の規則を厳守するとともに行政の環境施設に協力する。

1. 廃棄物処理工程方法

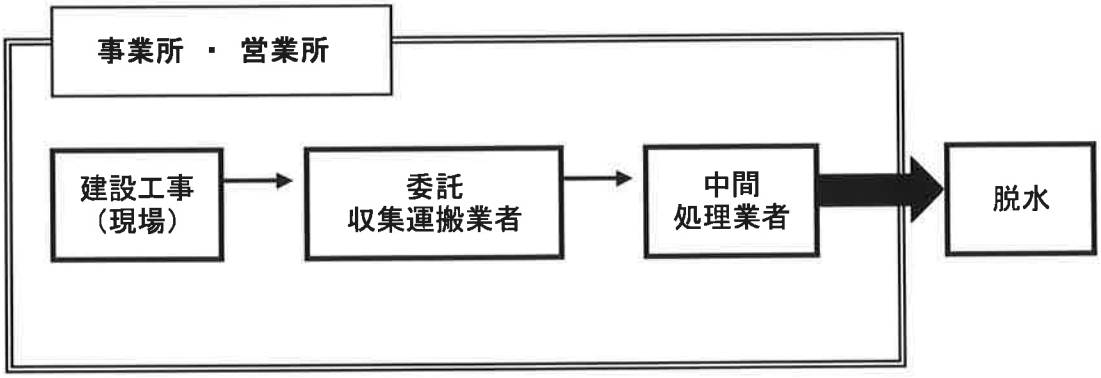
〈建設工事の場合〉

【松山事業者 ・ 南予営業所 ・ 新居浜営業所 】



〈汚泥の場合〉

【松山事業者 ・ 南予営業所 ・ 新居浜営業所 】



2. 処理計画等の作成単位

事業場

【松山事業所】

建設工事・・・国土交通省、県、市町村

【南予営業所】

建設工事・・・県、市町村

【新居浜営業所】

建設工事・・・県、市町村

〈資料－3〉

再生アスファルトプラント設備

協和道路株式会社

1. プラント作業手順

1） 目　的

この手順書は、当プラントにおける合材の製造に関して、お客様からの要求規程を確実に満足するように運用することによって、製品の品質を保証することを目的とする。

2） 用語の定義

認定アスファルト混合物：顧客の要求による配合で認定されたアスファルト混合物をいう。

3） 適用範囲

協和道路株式会社　南予営業所に適用する。

4） 主管部署及び実施責任者

協和道路株式会社とし、実施責任者は所長とする。

5） 資材の発注

協和道路株式会社の担当者が行い、所長が確認する。

6） 資材の受入検査

協和道路株式会社の担当者が行い、所長が確認する。

7） アスファルト混合物の出荷

アスファルト混合物の注文は、各工事現場代理人から受け、品名・品質・数量を確認後、製造担当者が出荷を行い、所長が確認する。

8） アスファルト混合物の品質確認

協和アスコン株式会社（技術試験所）に試験依頼を行い、所長・現場代理人が確認する。

2. プラント設備管理の手順

1） 目　的

管理方法を示すことにより、製造される製品の生産効率の維持と品質の保証を図る。また、混合所で使用する機械を定期的に点検することにより、生産能力と品質を継続的に持続することができる。

2） 日常点検の実施

機械管理担当者は、毎日「始業点検（作業終了時）の点検記録表」、「作業中の安全点検表」を実施する。また、異常発生時の対応等を定め実施責任者、実施手順を明確にする。

3） 月例点検の実施

機械管理責任者は、混合所での点検保守は駆動部分、摩耗部分、表示機器類を中心として毎月「合材製造設備点検表」・「月別修理記録表」に基づいて月例点検を実施する。なお、点検の結果は記録に残す。

4） 定期点検の実施

設備管理責任者は、定期点検の年間計画を立て実施し、「プラント定期検査管理台帳」に記載し、所長の承認を得る。

所長は、下表の製造設備の点検項目について、定期点検を実施し、目標値を確保する。そして、検査の結果は記録に残す。

なお、特定の発注者から検査要求があった場合は、その都度実施対応をする。

表―1　製造設備の定期点検の目標値

点　検　項　目		目　標　値	点検回数
計量器	ひょう量の1/2未満	1目盛又はひょう量の±0.5%以内	2年に1回以上
	ひょう量の1/2以上	2目盛又はひょう量の±1.0%以内	
温度計	熱起電力	許容温度換算表の基準内（別紙）	1年以内の点検時交換

5） 測定装置の管理

協和道路株式会社　宇和営業所で使用する測定装置については、所長が定期点検終了後、「測定装置管理台帳」に必要事項を登録して、管理する。

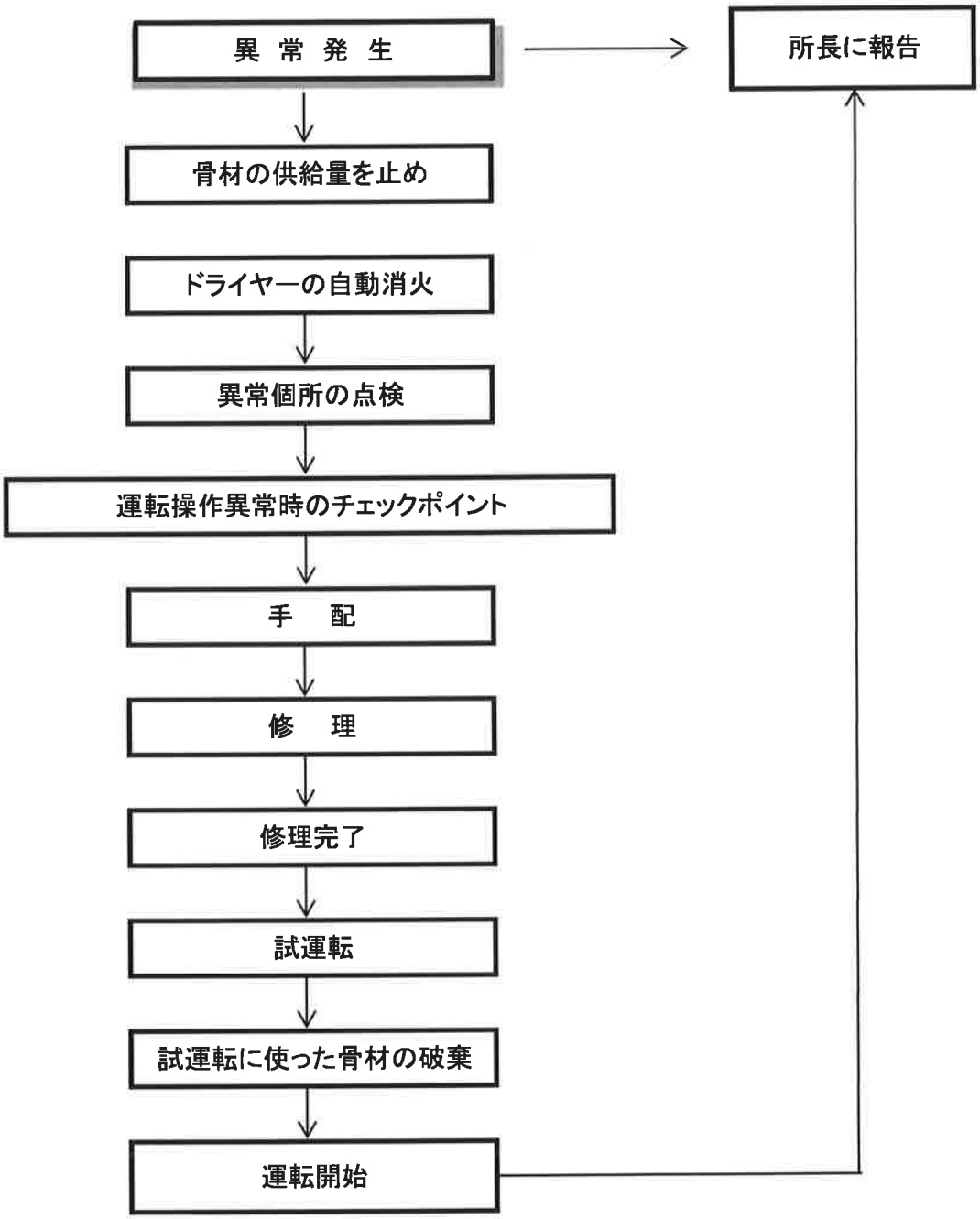
6） 異常時のチェックポイント

運転操作異常時のチェックポイントを表にして担当者に確認させる。また、故障時は、異常発生時の対応フローチャートに従って対処する。

7） 安全作業の手順

保守点検上の安全作業手順の作成にあたっては、点検修理時の注意事項に基づくものとする。

3. 異常発生時の対応


異 常 発 生
所長に報告
骨材の供給量を止め
ドライヤーの自動消火
異常個所の点検
運転操作異常時のチェックポイント
手 配
修 理
修理完了
試運転
試運転に使った骨材の破棄
運転開始

(1)所在地　　愛媛県西予市宇和町皆田215-4

(2)敷地面積と配置図　　4,430 ㎡

(3)ユニット本体

製造会社	日工株式会社	設置年月日	昭和62年6月
型式番号	NAP800AZB	公称能力	40t

再生プラント

製造会社	田中鉄工株式会社	設置年月日	平成11年6月
型式番号	TRD 30	公称能力	30t

(4)使用材料

材料名	工場所在地	製造又は採取業者	備考
AS再生材	西予市城川町嘉喜尾	南予砕石㈱	
20	西予市城川町嘉喜尾	南予砕石㈱	
13	西予市城川町嘉喜尾	南予砕石㈱	
5	西予市城川町嘉喜尾	南予砕石㈱	
砕砂	西予市城川町嘉喜尾	南予砕石㈱	
海砂	八幡浜市五反田	建商㈱	

(5)骨材貯蔵所

種類	貯蔵面積(㎡)	隔壁高さ(m)	最大貯蔵容量(㎥)
再生材13～0	4.8*4.7＝22.5	3.3	37.1
20～13	3.2*1.8＝5.76	1.5	8.6
13～5	5.5*5＝27.5	3	82.5
5～2.5	5.5*5＝27.5	3	82.5
砕砂2.5-0	5.5*5＝27.5	3	82.5
海砂2.5-0	5.5*5＝27.5	3	82.5

積み上げ機械の種類と台数　　ショベルローダー　2台

貯蔵材料の認識方法　　表示プレート取り付け

(6)骨材ホッパー　　1基

製造会社	型式	ホッパー容量(㎥)	フィダー形式	使用材料
田中鉄工㈱	ホッパー	5	ベルトフィダー	再生材　13-0

(7)ベルトフィダー

ゲートの開き	90mm	ゲートの巾	340mm
変速装置	有り　1:60	サイクル最大	1800min-1

(8)骨材ホッパーへの骨材供給方法

機種	ショベルローダー	製造会社	小松
能力	バケット容量0.75㎥	台数	1台

(9)傾斜ベルコン

形式	R材投入ベルコン	能力	30t/h
駆動源と電力	ギヤモーター1.5kw4P　1:45		

(10)ドライヤー

製造会社	田中鉄工㈱	能力	30t/h
直径	1670mm	長さ	9150mm
傾斜角度	3°	設置角度	
回転数	9.44min-1	駆動源と電力	5.5kw　4P
熱伝導方式	並流伝導方式	バーナー形式	LO30　ターボファン
燃料騒音対策	有り	燃焼容量	240l/h
送風機形式	軸流ファン	燃料の種類	A重油
燃料自動調整	操作盤と連動		

(11)スキップエレベーター

形式	転倒排出式	容量	600kg
駆動源と電力	モーター 15kw		

(12)ダスト処理

1)サイクロン

製造会社	田中鉄工㈱	形式	遠心式乾式サイクロン
送風機能力	210㎥/min	能力調整	可

2)湿式サイクロン

(13)サージビン

製造会社	田中鉄工㈱	形式	ヒーター 10.2kw
貯蔵能力	30t	保温方式	T＝100mm保温

(14)計量器

バッチ式

計量器製造会社	計量方式(ロードセル)	秤量	最少	目盛 %
田中鉄工㈱	個別重量計量	800kg	2	1/400

(15)温度計

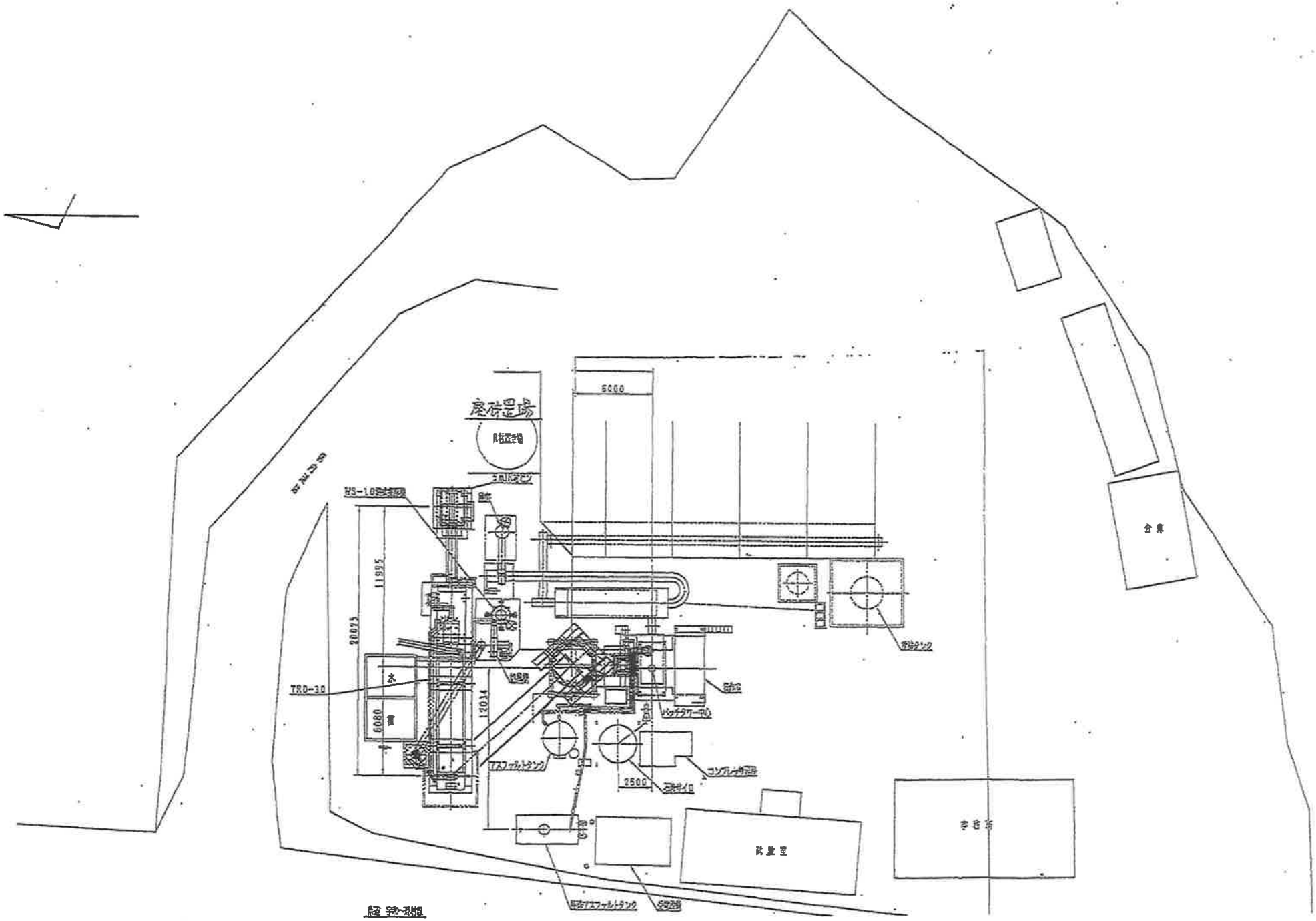
測定位置	形式	製造会社	測定範囲	最少目盛
ドレイヤー排出ホッパー	熱伝対	田中鉄工㈱	0～300	1° c
サージビン	熱伝対	田中鉄工㈱	0～300	1° c

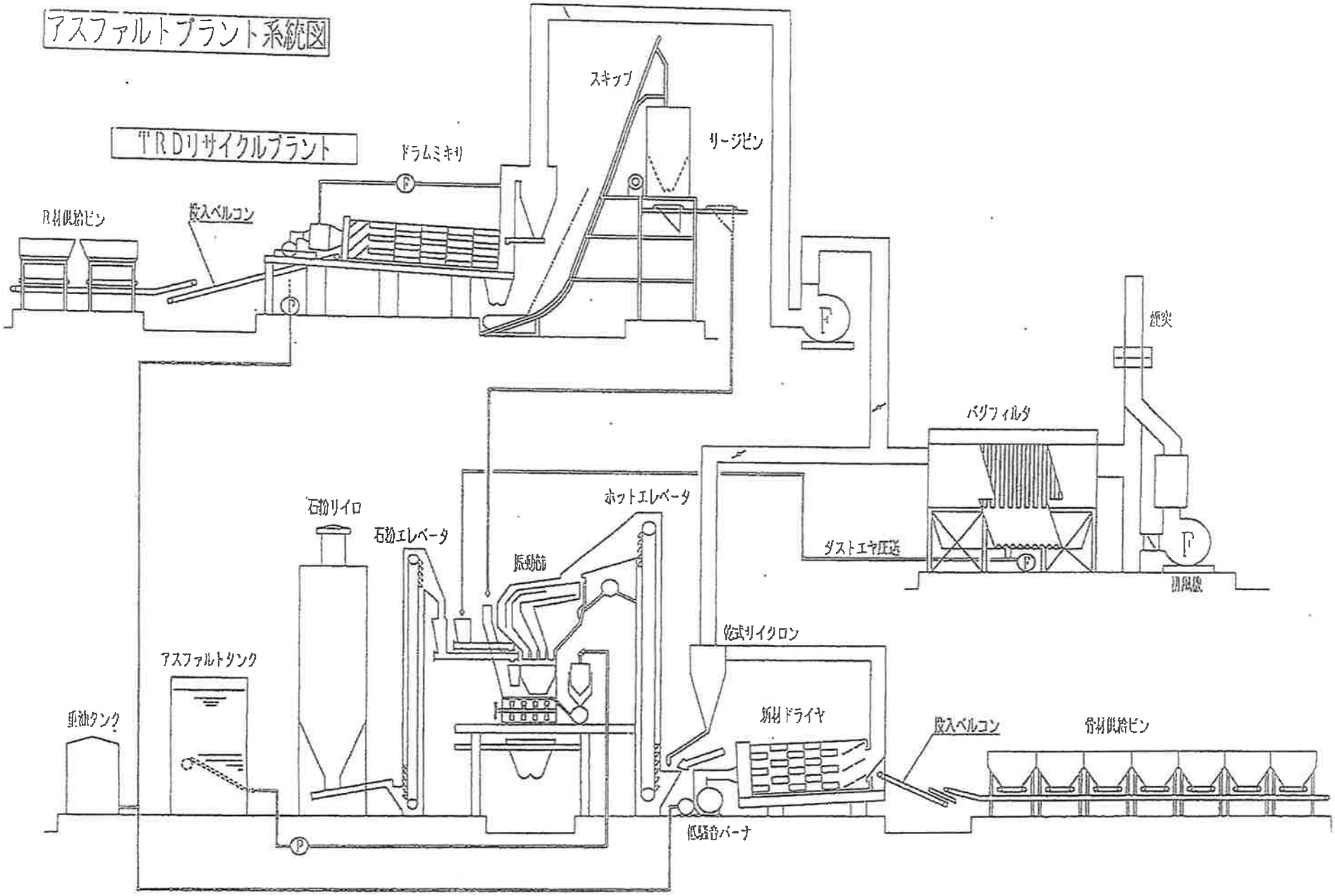
(16)操作盤

(TRT30)アスパク 500 TRD

(17)合材廃棄場所

プラント内廃棄置場別途図面



廃砕置場
6000
11995
20075
TRD-30
6080
12034
2500
合庫

アスファルトプラント系統図